

# ～郷土かるたで故郷発見～

**諏訪のいろはかるた (19)**  
 全国各地に存在する郷土かるた。多くは絶版となり現在では入手が困難です。ふるさとの財産「諏訪いろはかるた（信濃文化研究会作成）」に詠われたかるたを紹介いたします。



**は** 花やかに江戸で流行親和染  
 明和・安永（一七七〇）のころ江戸で親和染という染ものが大流行した。これは、書家三井孫之亟親和の筆跡を染模様としたもので、衣類や幟に楷書・行書・草書から篆書などがよく書かれて、老若男女がぎそつて求めたといわれる。親和は十二歳の時、細井広沢の門にはいつて書を学んだ。のち深川に書塾を開いたが、当時は唐様の流行した時代であつて親和の書を求めるものが多かったといわれ、神社の大幟から軸物までその遺作は多い。その親和の書が、染模様にとり入れられるようになって爆発的な人気を呼んだ。深川親和の名声はいよいよあがつて、親和染という名まで残るようになった。

**ね** 年々と古式伝えるどぶろく祭  
 御座石神社は、古くは御座所の宮ともいって、建御名方命の母高志沼河姫命を祀っている。この母神が大境内にその足跡を残した大きな石があると伝えられ、またここは母神の住居したところで、いつの間にか御座石と変わったのだといわれる。神事は四月二十七日に行われ、矢ヶ崎祭り・独活祭りといひ、濁酒をつくりその粕であえた独活と鹿の肉を神前に供えたことから「どぶろく祭」の名が起つて来た。古代は鹿や猪が主要な食料であつた。矢ヶ崎祭りは明神出向の儀式ともいわれ、御座石神社で狩の豊猟を祈つた。つまり狩猟への出発の式であつたといわれる。



**う** 浮城の天守映えたり高島城  
 高島城の築城は小田原征伐後諏訪氏が関東に転封となり、その後領主となつた日根野織部正高吉によつてなされたものである。日根野高吉は美濃の産で、初め信長に仕え、その滅後は秀吉の部将となつて小田原の役で武功をたて、諏訪の地で封ぜられた。諏訪氏は金子に築城し、これを居城としたが、日根野氏は諏訪湖畔高島に着目して、築城をはじめ慶長初年に完成した。高島は浮島と呼ばれた小島で、まわりは水に囲まれた要害の地であつた。築城には金子城の石垣の石を運び、有賀の石船渡から巨石を舟で運ぶなど、その苦勞は多かつたと伝えられている。お城は衣之渡川や中門川・六斗川などによつて備えとし、諏訪湖の水が石垣にうち寄せる典型的な水域で、三重の天守閣は湖の水に映える堅固の浮城であつた。高吉は下諏訪の慈雲寺に葬られ、あとは子吉明が継いだ。関ヶ原の役後日根野氏は下野国壬生に転封となり、諏訪氏は関東から旧領に復帰し、高島城を明治維新まで居城した。



**う** 浮城の天守映えたり高島城  
 高島城の築城は小田原征伐後諏訪氏が関東に転封となり、その後領主となつた日根野織部正高吉によつてなされたものである。日根野高吉は美濃の産で、初め信長に仕え、その滅後は秀吉の部将となつて小田原の役で武功をたて、諏訪の地で封ぜられた。諏訪氏は金子に築城し、これを居城としたが、日根野氏は諏訪湖畔高島に着目して、築城をはじめ慶長初年に完成した。高島は浮島と呼ばれた小島で、まわりは水に囲まれた要害の地であつた。築城には金子城の石垣の石を運び、有賀の石船渡から巨石を舟で運ぶなど、その苦勞は多かつたと伝えられている。お城は衣之渡川や中門川・六斗川などによつて備えとし、諏訪湖の水が石垣にうち寄せる典型的な水域で、三重の天守閣は湖の水に映える堅固の浮城であつた。高吉は下諏訪の慈雲寺に葬られ、あとは子吉明が継いだ。関ヶ原の役後日根野氏は下野国壬生に転封となり、諏訪氏は関東から旧領に復帰し、高島城を明治維新まで居城した。



## 「クローズアップ★うちの子」写真を募集します!

クローズアップしもあわ4月号から、愛くるしい表情やしぐさで私たちを癒してくれるキュートなペットを紹介します。

- ★募集内容 我が家のペットの写真（どんなペットでもOK）
- ★募集期間 平成24年2月1日（水）～平成24年3月30日（金）まで
- ★掲載開始 平成24年度4月号～
- ★必要事項 ペットに対する一言コメント、ペットのお名前・年齢・種類・性別、飼い主のご住所・お名前（ニックネーム）を書いたメモを写真に添えてご応募ください。
- ★募集方法 下諏訪町役場 総務課 情報防災係窓口での直接応募か封書またはメールでの応募になります。【記録媒体（CD等）、プリント写真のどちらでもOKです】
- ★応募先 〒393-8501 下諏訪町4613-8 下諏訪町役場 総務課 情報防災係 E-mailアドレス：jyoho@town.shimosuwa.lg.jp
- お問い合わせ先 下諏訪町役場 総務課 情報防災係 電話27-1111（内線262）
- ※応募多数の場合は、誌面上掲載できない場合もございますのでご了承ください。
- ※ご応募された写真・データはお返しできません。

## ～町図書館から～ 今月のおすすめ本

**エドガー・ソーテル物語** NHK出版  
 デイヴィッド・ロブレスキー/著 金原 瑞人/訳  
 ウィスコンシン州北部の農場で、エドガー・ソーテルは声を持たずに生まれた。手話だけで話すこの少年は、両親と沢山の犬と暮らしている。しかし、叔父クロードの帰郷によってその平穏な暮らしはかき乱されていく…  
 かの、スティーヴン・キングは「私はこの本を閉じるとき、最高の本を読み終えた時にしか感じない切なさを感じた。」と評する。アメリカ文学界を静かに震えさせた729ページに及ぶ物語で至福の時をお過ごしください。（井出 千穂）



万治さんの足 わかりますか？



無病息災を願い どんど焼き



2月の暦 浮島残雪 柴田吉郎作

下諏訪町総務課 ☎27-1111 内線259 FAX28-1070  
 E-mail jyoho@town.shimosuwa.lg.jp  
 下諏訪町教育委員会 ☎27-1111内線718 FAX28-0131  
 E-mail syougai@town.shimosuwa.lg.jp  
 下諏訪町社会福祉協議会 ☎27-7396 FAX27-0890  
 ご意見・お写真などをお寄せください